

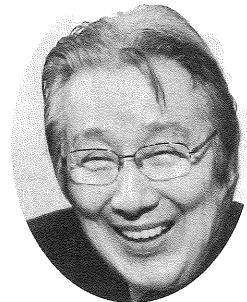
# ダイヤモンドは何かですか？

## ダイヤモンド

—EAVのドクター・フォルと  
意識指数のデヴィッド・R・ホーキンス博士に  
敬意を表して—

田村(・タカ)熾鴻  
(本名・富保)

完璧なカットが世界で初めて完成 (1985年10月)  
次々と起こる七つの不思議  
誘われた世界は、霊的世界、意識界  
学んでみれば、鉱物にも意識あり  
そして今、人の心身を完璧に調整し、癒し、尚  
意識を高めるエネルギーとなったダイヤモンド  
エイトスター  
そんなダイヤモンドと人との関係を  
研究するのが、ダイヤモンド道。



10月8日、高校の同窓会があった。卒業後、57年。25年前、50歳の時に出席して以来、出ることなく25年。その時すでに、みんなおじいちゃんだった。50歳の時も、あまりの老け振りにちょっと引けてしまっていた。みんな高校時代の先生のように見えた。今回は、さらに進んで頭が光っている人が3分の一。会場に入ってすぐ誰だか分かったのは、3人。1時間経ってやっと分ってきた友が、30名中5～6人。そんな中で、一番若さを保っていた友人が近づいてきて一言。

「俺よりも、若く見える奴が居るとは思わなかったよ。何やってんの？」

「ダイヤモンド屋。仕事現役。多分このダイヤモンドのお蔭。特別な不思議なダイヤモンドなんだ」精一杯の言葉だった。それ以上、誰にも話せる雰囲気

はなかった。ダイヤモンドのことも、見えない世界のことも……。120歳まで生きよう……。会のことなんて特に……。

すべては、完璧なカットのダイヤモンドが導いたもの。やって良かった。導かれて良かった。見えない世界を受け入れられて良かった。そんな思いを強くした友人の一言だった。

今回は、そのダイヤモンドの遠隔の力について書いてみます。

天声私語に書いていますが、苦しんだ腰痛を最後にサポートしたのが、遠隔治療。6年も前に木曜会に講師として出て頂いた健康志向の現医療ジャーナリストの中村敬三氏。遠隔の力を身に付けての再会だった。2ヶ月以上も痛み、様々な治療をしても改善に向かわなかった吾が腰痛。中村氏は、

「エネルギーがずいぶん弱まっています。自力を付けて、自力で治すようにしなければ、ダメです。」と、30分間腰に手を当ててエネルギーを注入して下さった上、以来1週間、夜9時に遠隔でのエネルギー補充をして下さった。

その数日後、お馴染みのフローセラピーの門真さんの施術を受けた時に、やけに長く同じ所を押し続けるので、「どうしたの」って声を掛けたら、右の盲腸の周辺を触りながら、

「ここスカスカ、エネルギーが抜けてるの。だから、回復させてます」って。お腹の力も抜けてるんだ、と自分では分からないことが直近で二度つづいて、全身の力が抜けていることを気づかされた。その間も続いていた遠隔治療。

中村氏の遠隔力はアフリカに居る人の体調不良も治した、と言っていた。結果的に、効を奏したごとくに、腰痛は回復に向かって行った。

遠隔治療、人生で初めて遠隔で治療が出来ると聞いたのは、27～8年も前、ダイヤモンドの不思議に導かれて開いたスピリチュアルの世界を知って数年後のこと。中国の気功師に遠隔治療して貰っていると、あるお客様から聞いたのが最初。そんなに離れていても効くの？って、信じられないという返事をしてた。まだまだ三次元レベルの真っ只中で生きていた私は、人の力が空間を通して繋がっているなどとは考えもしなかったし、信じることも出来なかった。

しかし今は、人力ではないが、自分がエイトスターの遠隔力を伝えている。それは本当のことだから、わが身にとっては当たり前のことだから。だから、写真の上にダイヤモンドを置いておくだけで、繋がっていると伝えてきていた。

そう言えるようにどうしてなったかと言うと、たくさんの実際に起ることが、繋がっている、としか思えなかったから。

最初は、7つの不思議。なんでこんなことが起るの？ って。何かがなければ、起るわけではない。でも理由が分からなかった。漠然と、ここには神様が降りてきている、と思った。完璧なカットが完成した瞬間に、吾が心は違う次元に飛んでいた。姓名判断に続いて気学（方位学）を学んでいたお蔭。完璧なカットの中に、気学でいう「宇宙の真理」の図が出ていた。

「このダイヤモンド、スゴイよ。吉祥開運の印鑑知ってるか？ それと同じで吉祥開運のダイヤモンドになるよ」とスタッフに言ったら、世界で初めて完成したカットに前向きさを持っていたスタッフ全員がポカンとして無反応だった。ナンバー2の男に、「社長その話、しない方が良いでしょう。」と言われ、「分かった！」とすんなり返事して始まったショールーム・オープン。

オープン記念パーティーには350名の人が集まったのに、以後4ヶ月間ダイヤモンドは売れなかった。さすがに、音を上げたナンバー2が、

「あの話、した方が良いでしょうね」

「お前がそう言うならするよ」と始めた。人が人を呼んで人が集まるようになってきた。売れない4ヶ月の間に、吾が気持ちにも変化が起っていた。完璧なカット、‘世界で一番美しいダイヤモンド’のフレーズが、まったく人の心に響いていないことを悟っていた。ダイヤモンドが美しいのは、当たり前だったのだ。そんな意識の人たちに、美しい、と言えは言うほど、魅力は感じなかったのだろう。

その4ヶ月の間に、玄関脇にあるほこら祠の銅板の屋根に、雷が落ちた。1m隣りに電信柱があるにも係わらず……。神成。かみなり神様が降りてきた、と感じた私は、ショールームの8方位にかした柏手を打った。落雷での停電は、ビルの全階ではなく、ショールームの電気だけが飛んでいた。神様が降りてきている、と静かに心の内にしまい込んでいた。

実感したのは、15年後から始まった神棚でののりとそうじょう祝詞奏上。山蔭先生との出会いからのぎょう行だった。

その7年後、私は心筋梗塞・脳梗塞で3週間入院。退院後、動けなくなるほどの栄養失調になった後、祝詞奏上中に突然ダイヤモンド神界と繋がった、という感覚がやってきた。見えない世界との直接の関係が出来たと実感出来た最初のことだった。すぐ後には、ロスへの機中、突然に「俺、会社のすべてのダ

イヤモンドと繋がっている」、という感覚が来た。人のダイヤモンドが感覚だけで選べる、と思った。それから始まったブレッシングワン・ダイヤモンド選び。ショールームにお越しになれない方のブレッシングワンを選ぶようにもなった。目の前にご本人が居なくても選べた。選ぶ過程では、ご先祖様や知人からのメッセージも受け取るようになった。何故だか分からなかったが、自然に伝えられるようになっていった。

そんなダイヤモンド選びを毎日やっていたんだから、今更遠隔について文章にしなくてもいいんじゃない、と思っていたが、これは人間力。私がやっていることだった。

しかし最近になって、「やっぱ、エイトスターはスゴイや」と思ったことがあった。エイトスターの遠隔力の話。繋がっているという証の話です。

エイトスターでのダイヤモンド選びは、まずはご本人に一番合うダイヤモンド選び。デザインでも予算でもなく、とにかくお持ちになる方に一番合うダイヤモンド、一番必要としているダイヤモンド選びが優先して行われる。だから、ダイヤモンドを指輪やネックレスなどに加工しておくことが出来ない。まずは、ブレッシングワンのダイヤモンド選びが行われ、その後にご希望のデザインの打ち合わせになり、最後に契約となる。そこから加工が出来上がるまで約2週間。そして、商品のお渡し。その時である。

当然、EAV測定が改めて行われる。その時、奇跡を見る。

初めていらした時のEAV結果（数値にバラつきがある）は完全に消えて、全てオール50となっている。まだダイヤモンドを身につけていないのに……。

これが、ダイヤモンドの遠隔力。すでに、自然治癒力・免疫力が一番働く気に改善されている。契約して持つ人が特定されると、この大気中を真っ直ぐにご本人を見分けて（?）、見事に繋がって癒しが始まっているということ。オール50はそのアカシ。これを知った時には、私がビックリした。

お客様が、加工が完成したダイヤモンドを受け取りにいらっしゃる時には、まして、改めてのEAV測定の時には、私は立ち会うことがほとんどないからだった。生体の人のエネルギーが繋がっていることは理解出来ていても、まさかダイヤモンドのエネルギーまで繋がっているとは……というわけです。

そして、消えてしまった（失くした）ダイヤモンドの行方も分かるというわけ。どこに在っても、気を発しているんだよね。特別なダイヤモンドだよね。特別なレベルまで進化したダイヤモンドだよね。

特別だからこそ私に、神様が人に置いた9の法則を解かせ、そこから、神が万物を6日で作ったという聖書の文章につながり、1日目に光あれと光をつくり、3日目、大地をつくった時に、一番硬い物質を地中に置いた理由を解き、6日目に神によってつくられた人を護ると言う本来の使命を完成させたんだ、と思えるまでに気持ちつながって行って、「120歳まで生きよう……会」まで閃かせたんだ、と言うわけ。

すべては、ダイヤの決めたままに……、とマイ・ウェイのエンディングのメロディに乗せての締めとします。

## 旧約聖書『創世記』の冒頭描かれた天地創造の様子

- 1日目 暗闇がある中、神は光をつくり、昼と夜が出来た。
- 2日目 神は空（天）をつくった。
- 3日目 神は大地をつくり、海が生まれ、地に植物をはえさせた。
- 4日目 神は太陽と月と星をつくった。
- 5日目 神は魚と鳥をつくった。
- 6日目 神は獣と家畜をつくり、神に似せた人をつくった。
- 7日目 神は休んだ。

光の気が、完璧にカットされたダイヤモンドを通り、神の子、人の負を消して、120歳までの命を護る。心を神のものにまで引き上げるために……。

おいで、おいで!! 心きわめて上がっておいで!! ほらもう少しガンバレって、神様が声を掛けています。

そのダイヤモンドが解かせた

『神が人に置いた9の法則～9からの倍数～』まとめです。

これ、新設ホメオスタシス（生体恒常性＝生物体または生物システムが間断なく外的および内的環境の変化を受けながらも、個体またはシステムとしての秩序を安定した状態に保つ働き）。9はこの世では、完成を意味する数。

以下の数字以内ならば、命安泰。超えると、超えた分、命引き算に入る。

- 9 眼・耳・鼻・口・排泄の9つの穴で人の営み出来る。
- 18 一分間の呼吸数
- 36 体温
- 72 一分間の脈拍数
- 144 血圧上限
- 288 妊娠期間十月八日（とつきようか）
- 576 五臓六腑に七つのチャクラ
- 1152 昼寝始め
- 2304 夜の就寝時間 以上9段階で完成。
- 番外 9の10分の1の0.9 血中塩分濃度

◇表紙掲載の田村の最新「よっちゃんの書き下ろし」文面。(2016年9月24日)

「熾鴻・誰にも入れぬ領域がある。熾鴻にしか許されぬ領域がある。  
その領域の中でどこまでも真理と共にこの命を使い続けてゆく。  
その生きざまを皮切りに皆が己だけの領域を生き始める。  
そこから広がるミロクの世。」

※「よっちゃんの書き下ろし」の会をエイトスターの4階にて行います。

11月26日(土) 12:00～17:50、11月27日(日) 12:00～17:00

ご希望の方はエイトスター・ネットワーク(03-5379-8881)にお申込み下さい。

心の内をズバリと読まれ、120歳につづいて次号はミロクの世づくりを皆様に引き継ぎます。(→12頁参照)

— お詫びと訂正 —

前号季刊誌86号(9月9日発刊)で、アニオンエア(電子発生器)についての記事と写真を掲載した折、共時性でやってきた電子の活性化がガンなどの病気を改善するという記事を連記してしまったために、IPS製品があたかもガンの特効薬であるような誤解を招く書き方となってしまいました。アニオンエアを販売している株式会社IPSコスメティクスに多大のご迷惑をおかけ致しましたこと、謹んで深くお詫び申し上げます。‘病気が治る’といった表現は、いま医事法の関係で厳しく指導徹底されていますが、書いている時には、そんな書き方になっていることに気付けませんでした。

仮に私がガンで、使用したもので治った場合、私的な経験として書く場合には医事法に抵触しないのだそうですが、電子発生器に惚れ込んでの記事の中ではアウトだということです。あの記事は、アニオンエアと電子の素晴らしさを別項とすべきだったということですね。しっかりと記憶に留めて、これからの書き方、言い方に生かしたいと思います。皆さんの意識の中では、それぞれ大切なモノとして学びにしておいていただきたいと思います。